広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No. 2000

例会日・木曜日　12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会　長　田中　健志
幹　事　金本　善行

事務所・〒730-0011　広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー http://www.hwrc.jp/

RIテーマ　Building Communities Bridging Continents
「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ
「ロータリーを楽しもう」

「職業奉仕・米山月間」

2010年 10 月 7 日　第1976回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長

10月２日㈯に鈴峯学園三鈴会主催・広島西ロータリークラブの後援で開催された、教育フォーラムに参加しました。社会奉仕理事柴田さん・青少年インターアクトクラブ他参加された会員の方々お疲れ様でした。

講師は元体操選手で、アテネオリンピック金メダリストの米田功さんでした。校長室で短時間ですが、ご一緒する機会がありました。33歳だそうですが、礼儀正しい好青年でした。２年前まで現役だったこともあり、筋肉は未だに張りがあり、身長があまり高くないわりには手が大きいと感じました。

演題は「もう一歩、前へ」でしたが、ご自身が世界を目指す中で努力したこと・悩んだこと・けがをしてリハビリ中に感じたこと等を話されました。目の前の沢山ある小石を一つ一つ乗り越えていくことの大切さを語られました。新世代奉仕部門での支援行事でしたが、私たち大人にとっても参考になる内容であり、大変有意義なフォーラムであったと思いました。

最後にお願いがあります。２週間前に配布された会報をもう一度読み直してください。会員増強委員会のアンケートの集計が載っています。当クラブの活動が楽しくなるように、今日からでも皆が努力すれば簡単に解決できることがあります。ぜひともよろしくお願いします。

第3回鈴峯学園三鈴会教育フォーラム
後援　広島西ロータリークラブ

●会務報告　金本幹事

※例会終了後、４階「松の間」において10月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

●委員会報告

出席報告　池田委員

本　日（10月7日・木曜日）
会員数　84名　　出席者　68名
欠席者　16名　　ご来客　 7名
ご来賓　 0名　　ゲスト　 1名
計　 76名
前々回(9月16日・木曜日)
出席率　100％

✳ＳＡＡ委員会

本日より席替えです（入会時期混合）

✳**国際交流委員会**　　田戸副委員長

第17回　国際親善宮島ウォーキング開催のご案内

紅葉の美しい11月、世界遺産の宮島で心身の健康を楽しみませんか？

本事業は、広島在住の外国人留学生とロータリーメンバー及びその家族が、一緒に世界遺産宮島の弥山を登山することを通じて親善交流を図るものです。

日　　時　2010年11月14日㈰　小雨決行
8：30　集合・受付
9：00　グループに分かれて各コースに参加
13：00～15：00　親善パーティー
集合場所　宮島側桟橋前広場
参 加 費　ＲＣ会員・家族　3,000円

✳**米山奨学委員会**　　古屋委員長

第2710地区米山学友会
2010～11年度賛助会員入会のお願い

米山学友会は奨学期間を終了した米山奨学生によって組織された、世代と国境を越えた交流の場です。

2710地区学友会は設立12周年を迎え、ロータリーの奉仕の輪を広げ国際交流を計るために様々な活動をしています。

本年度も学友会の活動を円滑に推進していくため、会員の皆様に賛助会員としてのご支援をお願いしております。

年会費は3,000円です。多くの皆様にご賛同いただき入会頂くようお願い申し上げます。

●同好会報告

紫雀会　　岡田世話人

紫雀会の９月月例会が９月９日庚午クラブで開催されました。

優勝は絶好調の副幹事小橋さんでした。紫雀会の世話人から開放された本年度になって、取り切り戦から優勝、準優勝、優勝と手が付けられない状態です。２位には５ポイント差の僅差まで追い上げた勝負師の木本さんが入りました。３位には松葉杖も取れた鈴木さんが入りました。

紫雀会の月例会は純粋なゲームとしての麻雀です。オブザーバーの方も安心してご参加いただけますのでお気軽にお声をかけてください。

次回月例会は10月28日を予定しております。皆様ふるってご参加をいただきたいと思いますので宜しくお願いいたします。

紫友会　　鈴木世話人

10月２日㈯、芸南カントリークラブにて10月例会を行いました。成績は以下の通りです。

		トータル	ネット	アウト	イン
優　勝	村上(智)君	92	74.90	49	43
準優勝	長谷川君	97	80.80		
第３位	斉藤君	103	85.00		
シニア優勝	村上(智)君				
ベストグロス	村上(智)君	92			
Ｂ．Ｂ．	田戸会員				

次回例会は、11月13日㈯に芸南カントリークラブにて廿日市、西南ロータリーとのコンペになっております。

●スマイルボックス　ＳＡＡ　浜田委員

村上智亮君　（自主申告）金一封

２日開催の紫友会の10月例会で総合優勝・シニア優勝･ベストグロスとトリプル受賞しました。スコアはアウト49、イン43、グロス92と恐らく紫友会史上初のハイベストグロスでした。上田さんをはじめベスグロ常連の不参加に加え、皆さんの成績がすぐれず､幸運が舞い込みました。またゴルフを始めて30有余年、目標にしていたハーフ30台を過日、熊本の高遊原ＣＣにて初めて達成しました。いささか遅しの感を免れませんが、当日は良き同伴者・天気・コースに恵まれ、アウト46、イン39のトータル85と感動の一日となりました。これを励みに、更なる目標に向かってチャレンジしていきたいと思います。

森脇宗彦君

10月は神無月。八百万（やおよろず）の神々が年に１度、出雲大社にお集まりになるのだそうですが、住吉神社の森脇君、神様のお留守をよろしくお願いします。

瀬尾誠君、米山民男君

今日10月７日は語呂合わせで「盗難防止の日」だそうです。盗難防止といえばクマヒラセキュリティ、そしてビル警備は三栄産業さん。万全の備え、よろしく頼みます。

「骨」と「木の日」にちなんで

語呂合わせと言えば、明日10月８日は漢数字の十と八が「ホ」となるので日本整形外科学会が「骨と関節の日」に制定しました。同様に十と八を組み合わせると「木」になるので「木の日」でもあります。

骨は骨でも木や骨材で日ごろ職業奉仕されている皆さんを紹介します。アイワ建設の荒川慎吾君、栗本ホールディングの小島謙介君、トータテハウジングの川西祐二君、森信建設の森信秀樹君、三洋スーパースタンドの前橋寛君、広島菱重興産の大西良昭君、田中化工機工業の田中健志君、古本建設設計の古本竜一君、クリエイト建築設計の堀江淳君、垂井建築設計の垂井俊郎君、ナガ・ツキの長谷川行信君、浜田木材の浜田広君、ご出宝よろしくお願いします。

紫友会10月例会

２位の長谷川行信君、３位の斉藤昭一君、ＢＢ賞の田戸孝雄君、それぞれご出宝をお願いします。

紫雀会例会

優勝の小橋敏幸君はダブルで、２位の木本弘三君、３位の鈴木義尚君もご出宝願います。

■卓　話

近況報告

米山奨学生

張　　化 さん

ここに立ち、この会場にいる方々の前で報告できるのは、今回で最後になるかもしれません。そのために、今回は自分の研究を含めて、みなさんへの感謝の気持ちを伝えたいと思います。

私は、日本に来て11年が経ちました。日本に留学できたことは、私の中では、人生においての一度のチャンスだと思い、大切にしています。しかし、実際、日本で生活してきて、大学、バイト先、家という日々が続いている中で、日本の社会や文化などを知る機会が少なかったように思います。それに、かつてはっきり目標としてきた自分の夢が、時間が経つにつれ、時には不安を感じることがあります。このような状況から私を救ってくださったのは、ロータリークラブです。ロータリークラブは、ロータリー米山奨学生になるまで、私にとって遠い存在でした。実際、例会やイベントなどに参加を通じて、ロータリアンの思いやりと熱意に感動しました。ロータリークラブも私の日本にいる大家族のような近い存在になりました。とくに、私は困難に直面するときに、私の立場に立って相談に乗ってくださったり、貴重なアドバイスをしてくださったり、精神面で支えられています。このような温かい気持ちの中で、常にこのような素敵な方々と出会えたことに感謝しています。

また、ロータリークラブは、経済面も私を支援しています。中国の経済発展が好調であるとしても、日本とはまだ大きな差が存在しています。日本で勉強するのにかかる費用は、普通の中国家庭ではなかなか負担できないコストです。そのために、留学生たちは一所懸命研究しようと思っていても、経済状況によって勉強する時間を削ってバイトをしなければなりません。私もその一員です。しかし、ほかの留学生より幸運なのは、ロータリー米山奨学生になれたことです。米山奨学金をいただき、研究に専念することができました。現在、来年３月の卒業に向けて博士論文を修正しています。論文では、中国を日本、ＥＵやアメリカなどの先進国との比較研究することで、中国におけるＩＦＲＳ適用の特徴を明らかにするものです。しかし、今でも、興味のある課題はまだ疑問がのこされています。たとえば、中国におけるＩＦＲＳ適用対象範囲の問題や二つ会計制度併存といった問題があります。ここでは、対象範囲について、簡単に説明します。国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）は、**上場企業が株式公開企業であり、投資家に対して国際的企業の財務情報と比較可能な情報を提供すべきであるとの思考に基づき、**上場企業を適用対象とするのが一般的です。しかし、

中国は、ＩＦＲＳ実施範囲の拡大により、上場企業から非上場企業へと展開しました。中国では、ＩＦＲＳとコンバージェンスを図った新会計準則を2007年１月１日以降、上場企業を対象に強制適用しました。その後、2008年になると、国務院国資委員会は中央政府のもとにあるすべての国有企業に対して新会計準則の実施を要求し、同時に各省にも新会計準則を積極的に推進することを要求しています。そのほか、都市の商業銀行や商業保険会社などにも2008年からの適用が要求されました。それに、一部の地域では、大中型企業に対して、2008年以降の開始を要求しています。

さらに、2009年12月30日に、中国財務部は公表した「会計準則を実施する上場会社と非上場企業の2009年年次報告業務に関する通知」によると、2009年では、上場企業以外に、中国国内ではすでに35省、自治区、および直轄市において、非上場企業にも新会計準則を実施したことと述べています。

このように、現在では、上場企業のほかに、中央政府のもとにあるすべての国有企業、特定業種企業などに適用し、一部地域では、中規模企業まで適用しました。このような非上場企業への適用は、非上場であるほとんどの日系企業の関連会社にも影響が及ぶことが考えられます。しかし、非上場企業への分析は、中国も日本もあまり進んでいないです。私はこの問題について、日本にいる私の視点から、日中双方の立場に立ち、研究を続けたいです。

このように、私はロータリークラブから精神面も経済面も大きく支えられています。それに、ロータリークラブは私に大きな夢を与えてくださいました。日中間では、歴史などの問題があったとしても、現在の国際社会では、切り離せない関係にあると思います。そのために、日中間の交流や相互理解が必要となります。私のできることは、単に日本と日本人の良さを伝えることに止まらず、長期的に日本と中国の掛け橋になることです。将来、博士号を取得して中国に帰国した後は、自分が日本で学習した国際的な会計知識を活かして、日本人にとっては理解しにくい中国国内の複雑な社会や会計システムを日本人や日本企業に分かり易く説明し、日中貿易でよく出現する会計・税務の諸問題に関して双方の立場に立ってパラレルに考え、より良い貿易環境構築に役立ちたいと思います。

また、広島西ロータリークラブと台南ロータリークラブとの心のこもった相互訪問や子弟の交流留学での通訳を体験しました。日中間でも近い将来、このような緊密な友好関係を実現したいと強く感じました。そのためにも、帰国後中国の学友会に加入し、心のこもった「親善・交流」を通じて日中のさらなる友好関係の構築に微力を注ぎたいと思います。

ビデオ上映**「心つないで、世界へ」**

米山奨学会への特別寄付のお願い

米山奨学委員会　古屋委員長

米山奨学事業は日本のロータリアンが作り育てた国際奉仕プログラムです。事業の推進は全国約９万人のロータリアンの寄付によって支えられています。2009～10年度の寄付金総額は13億2,700万円でした。2010学年度は47カ国826名の米山奨学生を支援しており、これらはロータリアン１人ひとりの浄財によるものです。

米山月間にあたり米山奨学事業の趣旨を十分にご理解の上、特別寄付にご協力いただきたく、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

※個人対象の特別寄付金の累計額に対し次の通り表彰制度があります。

表彰名称	特別寄付金累計額	回数
準米山功労者	3万円	
米山功労者	10万円	第1回
米山功労者マルチプル	20万円～90万円	第2回～第9回
米山功労者メジャードナー	100万円～	第10回～

※法人対象の特別寄付金の累計額に対しても（50万円以上）表彰制度があります。

2710地区寄付目標

普通寄付+特別寄付
15,000円/人目標
当クラブの普通寄付は年間**4,000円**を全会員からいただくようになっています。
本年度から米山募金箱を設置しました。
第１回目は８月第４例会に**26,950円**
第２回目は９月第４例会に**31,100円**
特別寄付は**10,000円/人以上**を目標としておりますので、皆様のご協力宜しくお願いします。

● 卓話予告

日時	テーマ
10/21(木)	クラブフォーラム(職業奉仕)